



かやきのワクワク大作戦!



令和8年 7月 7日
長崎市立蚊焼小学校
校長 大石 信弥

あと10日で1学期が終わります。今年は、雨が多く梅雨らしい天気になっています。今週は気温が急激に高くなる予報が出ていますので、水分を取り十分な熱中症対策が必要となります。

さて、今日は七夕です。学校の中にも七夕飾りをしている学年も多く見受けられます。近隣の方が笹をもってきてくださりました。短冊には、思い思いの願いが込められています。かなうといいなあと思います。



夏休みに向けて：メディアの利用についてチェックしましょう!

ICT機器の利活用は、これからの世界を生きる上で欠かせないものです。しかし、その使い方によっては、子どもたち自身が悩みやトラブルを抱えてしまう現実もあります。長崎市においても、ネット上でのやり取りが原因で友達関係が崩れ、いじめや不登校につながる事案が起きています。

アプリ	年齢
LINE	12歳以上
Facebook	13歳以上
Instagram	13歳以上
X (旧 Twitter)	13歳以上
TikTok	13歳以上
YouTube	13歳以上

注 釈

※年齢情報を用いた機能制限として、LINE では、18歳未満、または年齢未確認の利用者はID検索ができないなどの制限があります

主なアプリの年齢制限を表にしたものです。どれも本来は小学生が対象ではありません。ただ、実情としては、子どもたちは普通にLINE グループを作り、その中で会話を楽しんでいるようです。しかし、子どもはまだ成長の途中にあります。普段は仲の良い友達同士でも、その時の気持ちや状況によっては、言い合いや喧嘩になることもあります。学校内であれば、その様子に気付いた教師がその場でしっかりと話を聞き、関係の修復に向けて支援することができます。しかしながら、SNS内では、私たち大人の目は届かなくなり、誤解や感情の行き違いが広がってしまうことがあります。その結果、トラブルが深刻化してしまうことも少なくありません。

スマホ等の電子機器は、本来、子どもたちの安全確保や、よりよい成長を願って持たせているものだと思います。その目的が本当に達成されているのか、ぜひご家庭でも見直していただきたいと思います。具体的な取り組みとして

- ・保護者によるパスワードの管理
- ・フィルタリングの再確認
- ・決済機能の制限・確認

等があげられます。保護者の皆さんには、「スマホを与える責任」と「利用に伴うリスク」を十分理解していただき、「スマホは親が子どもに貸しているもの。いつでもその中身を確認する権利がある。」という意識を持っていただければと思います。子どもたちが安全に、安心して成長できるよう、学校と家庭が連携して見守っていきましょう。

